

本時の展開 (1 / 4)

- (1) **ねらい** 古典のリズムを生かして音読し、文章の大体の内容をつかむ。  
 (2) **準備** ワークシートA・デジタル教科書・PC・プロジェクタ・スクリーン・人物絵図  
 (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 単元の課題を知る。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     [単元の課題]                      四季の美しさに対する作者の捉え方を理解しよう。                 </div>
2 現代の季節感を話し合う。 ①自分が思う、四季にふさわしい風物を書く。 (ワークシートA[1]) ②グループで伝え合う。 ③伝え合って現代の季節感について感じたことをまとめ、数名が発表する。 (ワークシートA[2])	15分	・古典単元の学習に入る前に、生徒たちのもつ率直な季節感を交流させる。 ◎数人に「春と言えば」「夏と言えば」と問いかけ、風物の具体的な事例とする。
3 本時のめあてを知る。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     [本時のめあて]                      ・古典特有のリズムを生かして音読しよう。                      ・文章の大体の内容をつかもう。                 </div>
4 作者や作品について基礎的な事項をまとめる。 (ワークシートA[3])	15分	・教科書33ページの作者や出典の解説部分を音読させ、重要語句に線を引かせる。 ・人物絵図(清少納言・中宮定子・紫式部・中宮彰子・一条天皇)を提示し、人物の関係を説明する。 ・曙 <sup>あけぼの</sup> など、デジタル教科書の映像を活用する。  ◎歴史的仮名遣いや言葉の区切りなどに注意させる。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px;">                         ◇古典特有の表現やリズムに注意しながら音読することができる。                          (観察・発表)【読む】                     </div>
5 古典のリズムを生かして音読する。 ①範読を聞く。 ②繰り返し音読する。 (個人・ペア・全体など)		
6 文章の大体の内容をつかむ。 ①本文の構成の特徴を確認する。  ②句読点で現代語訳と対応させる。 ③作者が褒めている風物を発表する。 ④基本的な古語の意味を確認する。 (ワークシートA[4])	20分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【本文の構成の特徴】</b>                      ①(季節)は(時刻)。…体言止め                      ②その時刻に見られるすばらしいものや、その季節にふさわしいもの。                 </div> ・「山ぎわ」と「山の端」の違いを図で説明する。 <b>【作者が褒めている風物】</b> 春：あけぼの・山ぎわ(空)・雲 夏：夜・月・闇・螢・雨 秋：夕暮れ・夕日・鳥 <sup>からす</sup> ・雁 <sup>かり</sup> ・風の音・虫の音 冬：つとめて・雪・霜・火・炭
7 次時の学習内容を知る。		

本時の展開 (2 / 4)

- (1) **ねらい** 現代文と横断し、学習課題への興味・関心を高める。情景描写から、四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴に気付く。
- (2) **準備** ワークシートB・キーワード短冊①②③
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <p>[本時のめあて] ・情景描写の巧みさを捉えよう。 ・四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知ろう。</p>		
<p>2 <b>既習の現代詩「見えないだけ」と横断する。</b></p> <p>①「見えないだけ」に取り上げられている対象や事象を想起する。</p> <p>②「枕草子」と「見えないだけ」の題材の共通性を知る。</p>	15分	<p>・題材の共通性（身近に存在する対象や事象の美しさやすばらしさ）の視点で既習の現代詩と横断させ、「枕草子」に現代的な価値を与える。</p> <p>・同じ題材を平安時代の作者はどう描写したのだろうかと問い、次の学習課題への動機付けとする。</p> <p>【作者のものの捉え方のキーワード短冊①提示】 ①身近な対象や事象への注目</p>
<p>3 「枕草子」の情景描写を捉える。 (ワークシートB①)</p> <p>①それぞれの季節の描写を、視覚、聴覚、皮膚感覚の三観点に分けて書き出す。</p> <p>②複数の生徒が季節や観点ごとに発表し、全体で確認する。</p>	20分	◎それぞれの観点ごとに描写の一例を示す。
<p>4 四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知る。 (ワークシートB②・③)</p> <p>①個人で気付いたことを書く。 (予想される生徒の反応) ・美しい情景を、目に浮かぶように詳しく書いている。 ・情景が映像のように変化している。 ・「紫」「闇」「白」など色で具体的な情景を書いている。 ・視覚だけでなく聴覚や皮膚感覚などでも風物を表現している。</p> <p>②意見を全体で共有し、まとめる。</p>	15分	<p>◎視覚、聴覚、皮膚感覚の三観点の描写から感じたことや、その描写から伝わるよさを書くように助言をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇描かれている四季の情景描写を読み、鋭い観察力や繊細な感覚など、作者のものの捉え方の特徴に気付くことができる。 (ワークシート・発表)【読む】</p> </div> <p>・生徒の意見を生かし、キーワードとしてまとめる。 【キーワード短冊②③提示】 ②鋭い観察力（色、様子、変化など） ③繊細な感覚（視覚、聴覚、皮膚感覚など）</p>
<p>5 次時の学習内容を知る。</p>		

本時の展開 (3 / 4)

- (1) **ねらい** 思考ツールを活用し、四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知る。
- (2) **準備** ワークシートC・操作盤 (班交流用・全体発表用)・キーワード短冊④⑤⑥
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)																														
1 本時のめあてを知る。 [本時のめあて] 当時の美意識との関連から、四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知ろう。																																
2 「枕草子」成立当時の一般的な美意識を知る。	10分	・当時の固定化された美意識を端的に説明する。																														
<p>3 <b>思考ツールの活用により、四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴に気付く。</b></p> <p>① 作者が褒める風物を書き出す。 (ワークシートC①)</p> <p>② 班で交流する。</p> <p>③ 特徴的な意見をもつ数班が、全体に発表する。</p> <p>④ 四季の美しさに対する作者の捉え方として、考えたことや気付いたことを書く。 (ワークシートC②) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の一般的な美意識と同じもの、似ている(関連が強い)もの、違う(関連が弱い)ものを全て褒めている。</li> <li>・当時の一般的な美意識と違うものを多く褒めている。</li> <li>・当時の一般的な美意識とは正反対のものを褒めている。</li> <li>・花や虫、鳥獣だけではなく空や時間帯を褒めている。</li> </ul> <p>⑤ 意見を全体で共有し、まとめる。 (ワークシートC③)</p>	30分	<p>・当時の一般的な美意識と作者が褒める風物との関連の強さをエリアシート上に可視化させる。</p> <p>◎決まった正解はないことを伝える。</p> <p>・班交流及び全体発表では、表現しながら思考が深められるように、マグネット操作盤を活用する。 (操作例)</p> <div data-bbox="762 857 1428 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">明け方</td> <td style="border: 1px solid black;">山ぎわ</td> <td style="border: 1px solid black;">【春】</td> <td style="border: 1px solid black;">【夏】</td> <td style="border: 1px solid black;">雨</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">雲</td> <td style="border: 1px solid black;">山吹 梅 鶯 蛙</td> <td style="border: 1px solid black;">時鳥</td> <td style="border: 1px solid black;">夜 闇 月</td> <td style="border: 1px solid black;">螢</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">雪</td> <td style="border: 1px solid black;">雪</td> <td style="border: 1px solid black;">鹿 虫</td> <td style="border: 1px solid black;">月 紅葉 萩</td> <td style="border: 1px solid black;">雁</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">炭</td> <td style="border: 1px solid black;">霜</td> <td style="border: 1px solid black;">【冬】</td> <td style="border: 1px solid black;">【秋】</td> <td style="border: 1px solid black;">鳥</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">火</td> <td style="border: 1px solid black;">虫の音</td> <td style="border: 1px solid black;">夕日</td> <td style="border: 1px solid black;">風の音</td> <td style="border: 1px solid black;">夕暮れ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">早朝</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table> </div> <p>◇独自性など、作者のものの捉え方の特徴に気付くことができている。 (ワークシート・発表)【読む】</p> <p>・生徒の意見を生かし、キーワードとしてまとめる。 【キーワード短冊④⑤⑥提示】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 独自性</li> <li>⑤ 常識や周りにとらわれない</li> <li>⑥ 新しい発見や魅力を読み手に示す</li> </ul>	明け方	山ぎわ	【春】	【夏】	雨	雲	山吹 梅 鶯 蛙	時鳥	夜 闇 月	螢	雪	雪	鹿 虫	月 紅葉 萩	雁	炭	霜	【冬】	【秋】	鳥	火	虫の音	夕日	風の音	夕暮れ	早朝				
明け方	山ぎわ	【春】	【夏】	雨																												
雲	山吹 梅 鶯 蛙	時鳥	夜 闇 月	螢																												
雪	雪	鹿 虫	月 紅葉 萩	雁																												
炭	霜	【冬】	【秋】	鳥																												
火	虫の音	夕日	風の音	夕暮れ																												
早朝																																
4 現代の季節感と比較する。 ① 自分の季節感(第1時を想起)を書き入れ気付いたことをまとめる。 (ワークシートC④)	10分	・当時には存在しないものや、あまりに遠く離れていると思う風物は、シートの欄外に書かせる。																														
5 次時の学習内容を知る。																																

本時の展開（4 / 4）

- (1) **ねらい** 現代文と横断し、身近な対象や事象に対する作者の捉え方の特徴を明らかにする。  
 (2) **準備** ワークシートD・タイマー・国語教科書（光村図書1年）・キーワード短冊①～⑥  
 (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてを知る [本時のめあて] ・作者のものの捉え方と現代との共通点や類似点を探そう。 ・作者のものの捉え方の特徴について、自分の考えをもとう。		
2 <b>既習の全現代文と横断し、身近な対象や事象に対する捉え方について、作者と現代との共通点や類似点を探す。</b> (ワークシートD) ①今までの学びを振り返り、作者のものの捉え方をキーワードで確認する。 ②キーワードの六観点と共通・類似する現代の作品を個人で探す。 ③ワールドカフェ形式で交流し、発見を広げたり共有したりする。	40分	・題材の共通性（身近な対象や事象）の視点で現代文と横断させ、叙述に基づく具体的で深い比較を行う。 【キーワード短冊①～⑥提示】 ①身近な対象や事象への注目 ②鋭い観察力（色、様子、変化など） ③繊細な感覚（視覚、聴覚、皮膚感覚など） ④独自性 ⑤常識や周りにとらわれない ⑥新しい発見や魅力を読み手に示す ◇叙述を根拠にして、ものの捉え方について清少納言と共通・類似する現代の作品を探している。 (ワークシート・発表)【読む】 ・交流により得た新たな発見（作品名や根拠）は、色を変えてワークシートに書き足させ、発見の広がりや可視化させる。
3 <b>発見した共通点や類似点をまとめ、その結果について考察する。</b> (ワークシートD) (予想される生徒の反応) ・独自性のある作品は、現代の詩や物語などに多い。 ・新しい発見や魅力を示す作品は、現代の説明文に多い。 ・清少納言のものの捉え方は現代と共通、類似している部分が多い。 ・読者を引き付けるための工夫として独自性を発揮したのではないか。	10分	◎横断で発見した共通点や類似点から気付いたこと及び、読み手の反応などについて考察するように助言する。 ◇ものの捉え方について、作者と現代との間に共通点や類似点が多くあることや、そこから自分で気付いたことを記述したり発表したりしている。 (ワークシート・発表)【読む】

【目標】古典のリズムを生かして繰り返し音読しよう。また、文章の大きな内容をつかもう。

名前

二年

組

番

1 自分が考える、それぞれの季節にふさわしい風物を三つずつ書こう。

春		秋	
夏		冬	

2 グループで紹介し合い、現代の私たちの季節感について、思ったことを書こう。

-----

-----

3 作者と作品について、教科書の「作者」「出典」を参考にして書こう。

作者名 (よみがな)	時代	父親・仕えた人
		父親： 仕えた人：

4 次の語句の意味を、現代語訳を参考にして書き抜こう。

①あけぼの		②やうやう	
③あかりて		④たなびきたる	
⑤さらなり		⑥なほ	
⑦飛びちがひたる		⑧をかし	
⑨いと		⑩あはれ	
⑪まいて		⑫つらねたる	
⑬言ふべきにもあらず		⑭ことめて	
⑮ちひとも		⑯つきごきし	
⑰ぬるくゆるび もていけば		⑱わろし	

【目標】四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知ろう。

名前

1 現代語訳を参考にして描写の巧みさを捉えよう。( ) は想像できるもの。

季節	時刻や 時間帯	視覚		聴覚	皮膚感覚
		風物	色彩・明るさ		
春	明け方	山ぎわ	白んでいく		
夏		月	(光)		
秋	日 が す っ か り 沈 ん で し ま っ て	鳥		(鳥の鳴き声)	
冬					

2 四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴について、気付いたことを書こう。

3 四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴をキーワードでまとめよう。

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )

**C**

まくらのそうし  
**枕草子**

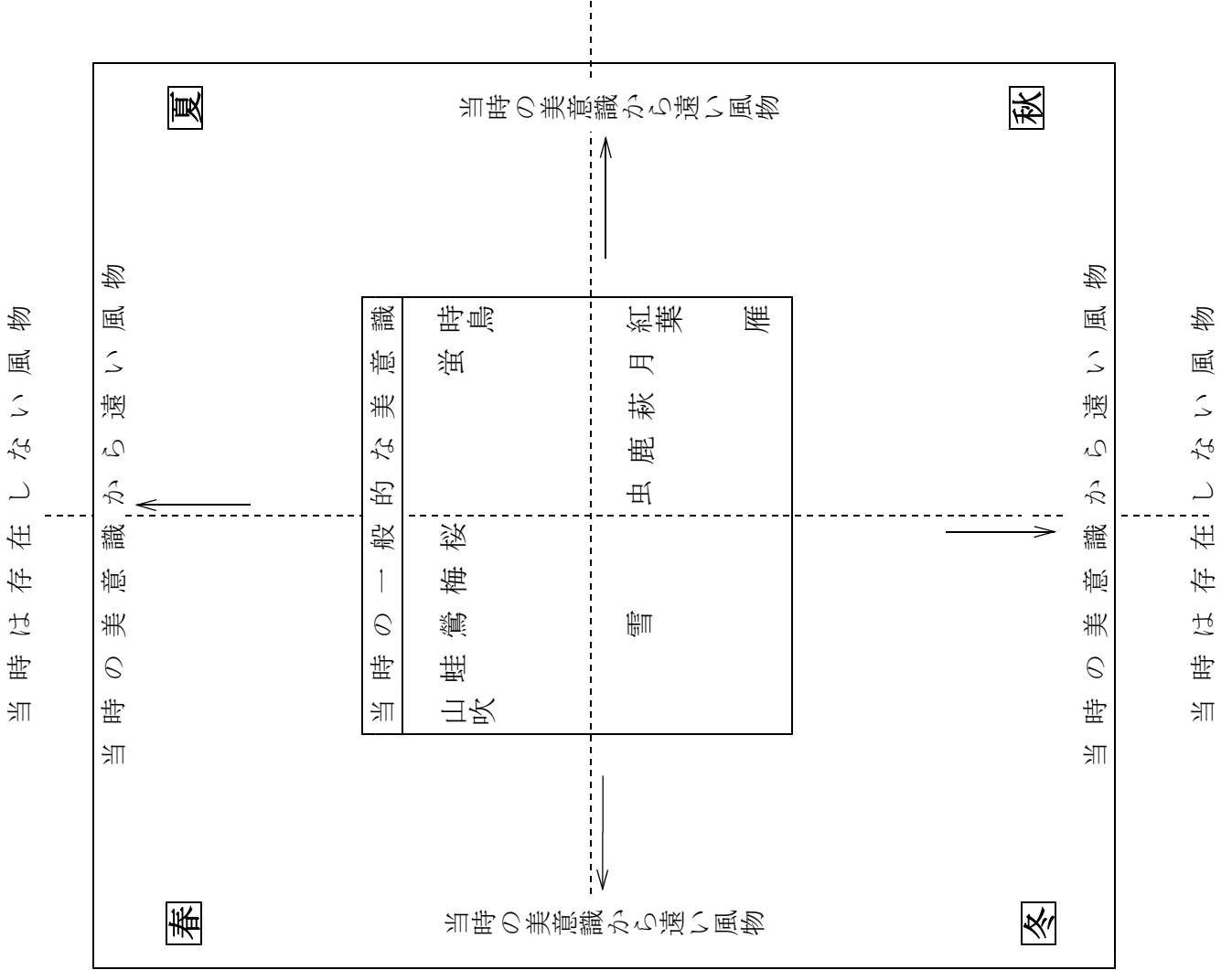
【目標】四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴を知ろう。

名前

二年 組

番

1 作者が『枕草子』で取り上げた風物と、当時の一般的な美意識を比較しよう。



2 作者が取り上げた風物と当時の一般的な美意識を比較して、考えたことや気付いたことを書こう。

3 四季の美しさに対する作者の捉え方の特徴をキーワードでまとめよう。

- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )

4 作者が取り上げた風物、当時の一般的な美意識、自分の季節感を比較して、考えたことや気付いたことを書こう。

【目標】作者のものの捉え方と現代との共通点や類似点を探し、その結果について自分の考えをもとめよう。

○作者のものの捉え方と共通点・類似点がある作品を、教科書から探そう。

(1) 個人で探して左の表に書こう。教科書の根拠となった叙述に線も引こう。

作者のものの見方や考え方	共通点のある作品の題名	理由（自分の言葉で簡潔に）
① 自然や、身の回りの風景を見つめている。		
② 鋭い観察力がある。		
③ 視覚、聴覚、皮膚感覚などの繊細な感覚がある。		
④ 常識や周りにとらわれすぎず、自分の心の中を、自由に表現している。		
⑤ 他とは違う独自性がある。		
⑥ 新しい発見や新しい考え、新しい魅力を読者に伝えている。		

(2) 班で交流しよう。

① ジャンケンをして、勝った人から発表しよう。（題名と理由を読み上げる。）

② 友達の発表を聞いて、増えたものは色で書き足そう。

(3) メンバーを変えた班で交流しよう。増えたものは色で書き足そう。

(4) 元の班に戻り、交流の結果を伝え合おう。増えたものは色で書き足そう。

(5) 作者のものの捉え方と現代との共通点について、気付いたことや思ったことを書こう。

.....

.....

.....



本時の展開（1／6）

- (1) **ねらい** 現代文と横断し、単元の課題への興味・関心を高める。単元の課題を捉える。
- (2) **準備** 琵琶法師CD・CDデッキ・釈迦涅槃図掲示用・「君たちはどう生きるか」プロジェクト・スクリーン・携帯・ワークシートA
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 <b>図書室配架の書籍「君たちはどう生きるか」と横断する。</b></p> <p>①近未来の社会の姿を想起した上で、「君たちはどう生きるか」の教師の読み上げを聞く。</p> <p>②「君たちはどう生きるか」のテーマを教師の説明で知る。</p> <p>③「平家物語」と「君たちはどう生きるか」のテーマの共通性を知る。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0動画を視聴させ、近未来の姿を想起させる。AI等の進化する時代だからこそ人間の生き方や在り方が問われることを知らせる。</li> <li>・ テーマの共通性（人間の生き方）の視点で現代のベストセラー書籍と横断させ、「平家物語」に現代的な価値を与える。</li> </ul>
<p>2 生きる上で大切にすること（大切にしたいこと）の考えを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が生きる上で、大切にしていること（したいこと）は、どんなことですか。</li> </ul> </div> <p>（予想される生徒の反応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優しさ・思いやり・命・家族</li> <li>・ 友達・自分らしさ</li> </ul> <p>（ワークシートA①）</p>	10分	◎お金や物などの具体物に限らず、心情や態度に関することも考えるように助言する。
<p>3 冒頭部分を音読する。</p> <p>①個人・ペア・全体などの形態や速さを変えて、繰り返し音読をする。</p> <p>②仮名遣いを確認する。</p> <p>（ワークシートA②）</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的仮名遣いや言葉の区切り、対句表現などに注意させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇古典特有の表現やリズムに注意しながら音読している。</p> <p>（観察・発表）【読む】</p> </div>
<p>4 「平家物語」の世界観に触れる。</p> <p>①現代語訳を基に、内容を知る。</p> <p>②無常観について知る。</p> <p>（ワークシートA③）</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原文と現代語訳を対応させて、大体の内容を理解させる。</li> <li>・ 祇園精舎、無常堂の鐘の音、沙羅双樹などについて簡単に説明し、「平家物語」の世界観に触れさせる。</li> <li>・ 単なる史実ではなく、様々な人物の生きる姿が描かれていることを知らせる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[単元の課題]</p> <p>「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観を理解しよう。</p> </div>		
6 音読を楽しむ。(暗唱する)		
7 次時の学習内容を知る。		

本時の展開（2／6）

- (1) **ねらい** 「扇の的」場面の展開を捉える。  
 (2) **準備** 源平合戦図<sup>びょうぶ</sup> 屏風図揭示用・日本地図揭示用・人物絵図・デジタル教科書・範読CD  
 CDデッキ・スクリーン・PC・プロジェクタ・ワークシートB  
 (3) **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてを知る。 [本時のめあて] 表現やリズムに注意して読み、場面の展開を捉えよう。		・前時の復習として冒頭部分を音読させる。
2 源平合戦の様子について知る。	10分	・源平合戦図屏風（教科書 140 頁～141 頁） ・デジタル教科書を活用し、動画を視聴する。
3 「扇の的」の場面に至るまでの経緯を捉える。 ①範読を聞き、内容を知る。 ②人物名や地名を取り出し、登場人物の関係や屋島の合戦に至るまでの経緯を捉える。 (ワークシートB ①・②)	15分	・現代文の解説部分を人物名や地名に注意しながら読ませる。 ①範読CD「治承四年～相對した。」 人物名→源頼朝・木曾義仲・義経 地名→伊豆・鎌倉・信濃・北陸・京・一ノ谷 屋島を指摘させる。 人物名、地名を日本地図上で整理する。 ②範読CD「日暮れを迎え～あると見えた。」 人物名→那須与一・義経 ……源氏 若い女房（五十歳の男）……平家
4 「扇の的」原文を読み味わう。 ①範読を聞き、読み方を知る。 ②音読をする。 ・範読に続けて読む、ペアで句読点ごとに読む、ペアで速度をそろえて読むなど多様な形式で読み慣れる。	15分	・範読CD「ころは二月～言ふ者もあり。」 ◎歴史的仮名遣いや古典特有の言い回し、言葉の区切り、七五調のリズムや対句表現に注意させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◇古典特有の表現やリズムに注意しながら朗読している。 (観察・発表)【読む】</div> ・古典特有の語や難語句などは、原文の音読の際に端的に補足説明をして内容理解を助ける。
5 場面の展開を捉える。 (ワークシートB ③)	10分	・現代語訳を参考に登場人物や出来事を確認する。 第一場面：両軍が与一に注目する。 第二場面：与一が故郷の神々に祈る。 第三場面：与一が扇の的を射落とす。 第四場面：与一が舞いを舞う男を射倒す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◇現代語訳を手掛かりにして、場面の展開や人物の関係を捉えている。 (ワークシート・発表)【読む】</div>
6 次時の学習内容を知る。		

本時の展開 (3 / 6)

- (1) **ねらい** 登場人物の心情の変化を捉える。
- (2) **準備** ワークシートC
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてを知る。	5分	・前時の復習として登場人物の関係や行動、屋島の戦いにおける源氏と平家の位置関係などを振り返る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     [本時のめあて]                      与一の心情の変化を捉えよう。                 </div>		
2 与一が扇を射るまでの部分を読んで、場面の状況を捉える。 ①範読を聞き、音読をする。 ②情景を捉える。 (ワークシートC①)	20分	・現代語訳の語句の意味を、更に解説する。 ○旧暦の二月→現在の三月 ○北風→与一にとっての向かい風 ○晴れがましい→一生の記憶に残る華やかな ○我が国→我が故郷(現在の栃木県) ○まみえる→会う ○おぼしめされる→お思いになる  ・「二月十八日」「酉 <sup>とり</sup> の刻」「北風激しくて」「磯打つ波も高かりけり」「沖には平家…、陸には源氏…」などの表現から、与一には不利な状況であることを捉えさせる。
3 与一の覚悟とその理由を捉える。 (ワークシートC②)	5分	・参考資料として、扇の的には戦の勝敗を占う吉凶矢の要素があったことや、与一が指名され、辞退が許されなかった詳しい経緯を紹介する。 (ワークシートC裏の資料を参照させる)
4 与一の心情の変化を捉える。 (ワークシートC③)  (予想される生徒の反応) ①義経から指名されたとき ・不安・自信がない・やりたくない ②命令を辞退できず、波打ち際に馬を歩ませるとき ・不安・命令だから仕方がない ・源氏の名誉のためにやるしかない ③故郷の神々に祈ったとき ・緊張・覚悟・絶対に外したくない	20分	◎与一がそれぞれの場面で発している言葉を抜き出させ、その言葉や場面の状況を手掛かりにして考えさせる。  <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">                         ◇場面の状況や言動を基に、与一の心情を想像している。                          (ワークシート・発表)【読む】                     </div>
5 次時の学習内容を知る。		

本時の展開（４／６）

- (1) **ねらい** 考えの異なる源氏の武士たちの心情を想像する。義経の行動の意味を捉える。
- (2) **準備** ワークシートD
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてを知る。	10分	・前時に学習した範囲を音読し、場面の状況や与一の心情について振り返る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏の武士たちの心情を考えよう。</li> <li>・義経の行動の意味を捉えよう。</li> </ul> </div>		
<p>2 与一が扇を射た後の部分を読んで場面の状況を捉える。</p> <p>①範読を聞き、音読をする。</p> <p>②平家の老兵が舞を舞った理由を叙述から抜き出す。 (ワークシートD①)</p> <p>3 源氏の武士たちから「あ、射たり。」「情けなし。」の聲が上がった理由を考える。 (ワークシートD②) (予想される生徒の反応)</p> <p>①「あ、射たり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敵だから仕方がない</li> <li>・二度も当てるとはすごい腕前だ</li> </ul> <p>②「情けなし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与一を褒めているのにかわいそう</li> <li>・無防備な相手を射るとはひどい</li> </ul>	30分	<p>・現代語訳の語句の意味を、更に解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○おもしろさ→感動の深さ</li> <li>○感に堪えない→感情を抑えられない</li> <li>○舞を舞う→当時の意志表現（風流、風雅）</li> <li>○長刀→ここでは攻撃のためではなく舞の道具</li> <li>○五十ばかりなる男→当時の寿命は五十歳程度</li> </ul> <p>◎「平家の方には音もせず」の叙述から、どちらの声も源氏側から上がったことに気付かせる。</p> <p>・源氏側にも様々な立場の武士がいて、いろいろな思いをもって戦っていた様子を描いていることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇場面の状況を基に、「あ、射たり」「情けなし」と言った人物の心情を想像している。 (ワークシート・発表)【読む】</p> </div>
<p>4 「弓流し」の場面を読んで、義経の行動について自分の考えをもつ。</p> <p>①範読を聞き、音読する。</p> <p>②義経が弓を拾った理由を抜き出す。</p> <p>③義経の行動について自分の考えを伝え合う。 (ワークシートD③・④)</p>	10分	<p>・現代語訳の語句の意味を、更に解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○嘲笑する→ばかにして笑う</li> <li>○悔しいので→「弱さ」は武士として恥ずべき姿</li> </ul>
5 次時の学習内容を知る。		

本時の展開（5／6）

- (1) **ねらい** 思考ツールの活用と現代文との横断により、「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観の特徴を明らかにする。
- (2) **準備** 「光る地平線」要約版プリント・ワークシートE・操作盤（班交流用・全体発表用）
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてを知る。	5分	
<p>[本時のめあて]</p> <p>「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観を知り、現代の物語と比較させてその特徴を明らかにしよう。 ※価値観・・・何を大切にしているか（行動や言葉を根拠にする）</p>		
<p>2 <b>思考ツールの活用と現代文との横断により「平家物語」と「光る地平線」の登場人物が優先する価値観の特徴を比較する。</b></p> <p>①個人で考える。 （ワークシートE①）</p> <p>②班で交流する。</p> <p>③班の代表者が、全体に発表する。 （予想される生徒の反応）</p> <p>※「平家物語」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与一は源氏の名誉のために矢を射るので「名誉」が優先されている。</li> <li>・義経も「名誉」のために矢を拾おうとしている。</li> <li>・戦いに勝つことが必要なので「強さ」が大切にされている。</li> <li>・与一は舞を舞う男を射ているので、「優しさ」や「他人の命」は大切にされていない。</li> </ul> <p>※「光る地平線」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若いライオンは自分で生きようと決めたから「自分の意志」が大切にされている。</li> <li>・年を取ったライオンは他の獣に肉を分けてやっているから「優しさ」や「他人の命」を大切にしている。</li> </ul>	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの作品の登場人物が生きる上で優先する価値観を、レーダーチャート上で数値化させる。</li> <li>・テーマの共通性（人間の生き方）の視点で現代文と横断させ、叙述に基づく具体的で深い比較を行う。</li> </ul> <p>◎登場人物の行動の仕方や言葉などを根拠として数値が決められればよいこと、決まった正解はないことを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班交流及び全体発表では、表現しながら思考が深められるように、マグネット操作盤を活用する。</li> <li>・それぞれの観点について、特徴的な意見をもつ班の代表者が発表をするように、意図的指名をする。</li> <li>・班交流及び全体発表では、「平家物語」を赤色、「光る地平線」を青色で考察させ、一つのシートに二つの図表を重ねさせることで、共通点や相違点を容易に見出せるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇それぞれの物語について、登場人物の行動の仕方や言葉、読み取った心情などを根拠に優先している価値観を記述したり発表したりしている。 (ワークシート・発表)【読む】</p> </div>
<p>3 <b>登場人物が生きる上で優先する価値観について「平家物語」と現代の作品との相違点に注目して考察する。</b> (ワークシートE②)</p>	10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇ものの捉え方について古典世界と現代とを比較し、特に相違点に注目して、その理由などを考察して記述している。 (ワークシート・発表)【読む】</p> </div>
4 次時の学習内容を知る。		

本時の展開（6／6）

- (1) **ねらい** 表現上の工夫と効果を捉える。「平家物語」に描かれたものの捉え方の特徴をまとめる。
- (2) **準備** レーダーチャートシート掲示用・前時の生徒の意見を集約したプリント  
ワークシートF・G
- (3) **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◇評価)
1 本時のめあてを知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平家物語」の表現上の工夫と効果を捉えよう。</li> <li>・本の帯を書いて「平家物語」の学びをまとめよう。</li> </ul> </div>		
2 表現上の特徴と効果を捉える。 (ワークシートF)	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひやうど」「ひいふっと」などの擬声語や「紅の扇」「金色の日の丸」「白い波」「オレンジ色の夕日」など聴覚や視覚に訴える表現を捉えさせる。</li> <li>・対句的表現についても確認し、俯瞰的に情景を見渡す効果や印象を鮮やかにする効果について理解させる。</li> </ul>
3 単元の学びを振り返る。 ①冒頭部分を音読し、「無常観」「盛者必衰」の語と意味を確認する。  ②「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観の特徴や、現代との相違点についての考察をまとめる。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭部分中の「栄える者は必ず滅びる」という意味の四字熟語は？→「盛者必衰」</li> <li>・「この世の全てのものは変化する（人生ははかない）」という意味の三字の言葉は？→無常観</li> <li>・レーダーチャートシートのそれぞれの観点について、クラスの生徒全員が個人で考えた数値を合計し、平均値化した図表を提示する。</li> <li>・「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観の特徴や、現代との相違点についての考察を数名の生徒に発表させて考えを全体に共有させる。</li> <li>・前時のワークシートE②に書かれた意見を集約したプリントを配布し、意図的指名をする。</li> </ul>
4 「平家物語」の本の帯を書く。 (ワークシートG)	25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平家物語」がどんな物語かをワンフレーズで書かせる。また、「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観を補足説明として数行で書かせる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇「平家物語」の登場人物が生きる上で優先する価値観の特徴について、単元で学んだことを生かして本の帯に書いている。 (ワークシート・発表)【読む】</p> </div>

## 音読を楽しもう 「平家物語」

【目標】冒頭部分を読み、「平家物語」の世界観やテーマを知ろう。

名前

二年

組

番

1 「君たちはどう生きるか」・・・自分が生きる上で大切にすることを考えよう。

●自分の考え


●友達の影響


●グループで紹介し合い、気付いたことや思ったことを書こう。

-----

-----

-----

2 線部を現代仮名遣いに直して、線の右側に書き込もう。

① 祇園精舎の鐘の聲、<sup>②</sup> 諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、<sup>④</sup> 盛者必衰の理<sup>⑤</sup>をあらはす。

おこれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もつひには滅びぬ、<sup>⑥</sup> ひとくに風の前の塵<sup>⑦</sup>に同じ。

3 言葉の意味を知り、「平家物語」の世界観に触れよう。

① 祇園精舎は昔、( ) の須達長者が、( ) のために建立した寺院。

② 鐘の聲は祇園精舎にある無常堂の鐘は、病僧の臨終の際に自然に鳴り、僧は苦しまずに往生するといふ。(資料集72ページ)

③ 沙羅双樹は( ) が亡くなったとき、その床の四方に二本ずつ植えられていたこの木が互いに結ばれて一本となり、ことごとく( ) に変じたといふ。(資料集72ページ)

「無常観」・・・〔

〕 平家物語の根底に流れる考え方

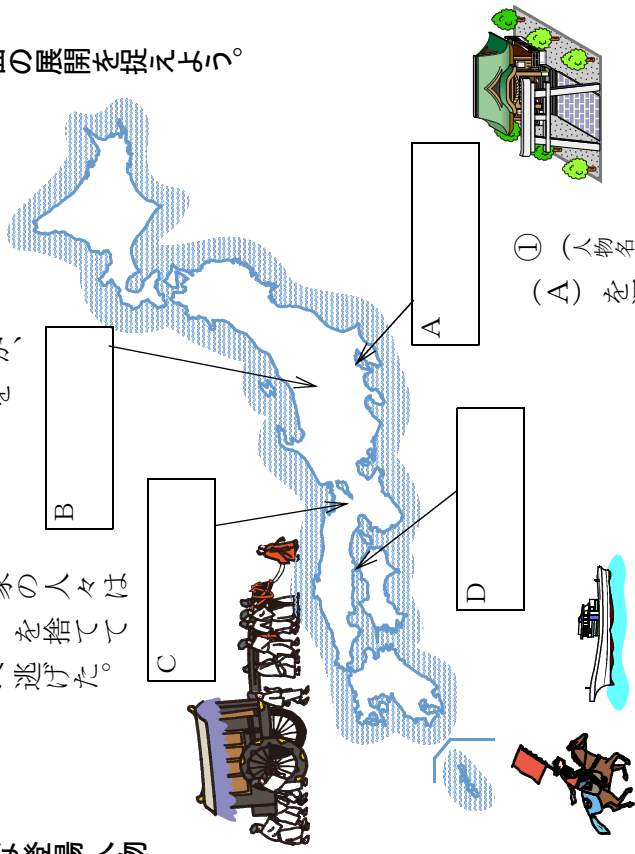
# B 扇の的―「平家物語」から

【目標】場面の展開を捉えよう。

## 1 状況説明

②木曾義仲が、  
(B)で兵を  
挙げる。

③平家の人々は  
(C)を捨てて  
西国へ逃げた。



①(人物名)が、  
(A)を源氏の本拠地に定める。

④(人物名)は、  
平家追討軍の奇襲を行い、平家  
を(D)に追い詰めた。

⑤(D)の戦い―扇の的の舞台  
( 家・・・海  
( 氏・・・陸

## 2 扇の的の主な登場人物

--	--	--

## 3 場面の展開を捉えよう。(誰が何をした場面か書こう)

現代文の部分 日暮れを迎え、く見えた。 (133※9行目～134※14行目)	・平家の舟から( )が手招きした。 ・( )の命令で( )が指名された。
第一場面 ころは二月くいふことぞなき。 (134※15行目～135※5行目)	
第二場面 与一目をふそいで、くなつたりける。 (135※5行目～135※13行目)	
第三場面 与一、かぶらをとくしよめきけり。 (136※1行目～136※12行目)	
第四場面 あまりのおもしろそと、くと言ふ者もあり。 (136※13行目～終わり)	



# 扇の的 — 「平家物語」 から

【目標】扇の的に向かう那須<sup>なす</sup>与一<sup>のよいち</sup>の心情を考えよう。

名前

1 「扇の的」の解説文と現代語訳、注を参考に、場面の状況を現代語でまとめよう。

① 与一から扇までの距離	間余り = 約			メートル
② 日付	月	日	③ 時刻	午後 時頃
④ 風や海の様子	( ) が ( ) 吹いて、波も ( ) 。			
⑤ 舟の様子	揺り上げられ ( ) 上下に漂っている。			
⑥ 竿 <sup>おぼ</sup> の上の扇の様子	舟につられて揺れ動き、少しも ( ) していない。			
⑦ 海の平家の様子	海上 ( ) に舟を並べて ( ) している。			
⑧ 陸の源氏の様子	( ) のくつわを連ねて与一の様子を ( ) いる。			

※ 場面の状況から考えて、可能性は「 」。

2 与一が命を懸ける覚悟だと分かる文を一つ選んで、原文から抜き出そう。

▼ 自害する理由

もし矢が命中し  
なかったら  
※ 吉凶矢  
(補足資料1)

- ・ 源氏はこの戦いに ( ) 予言をされてしまう。
- ・ 矢を外すことは、武士や源氏の ( ) になる。
- ・ 与一は、源氏の ( ) を汚した者になる。

3 与一の心情を考えよう。

① 義経から指名されたとき ● 与一の言葉を書こう。	● 与一の気持ちを想像して書こう。
② 命令を辞退できず、波打ち際に馬を歩ませるとき ● 与一の言葉を書こう。	● 与一の気持ちを想像して書こう。
③ 故郷の神々に祈ったとき ● 与一の言葉を書こう (一文を選ぶ)。	● 与一の気持ちを想像して書こう。

## 補足資料 1 扇を射る意味…「吉凶矢」について

『源平盛衰記』によれば、その扇は平氏の秘宝であり、平氏は戦いの勝敗を占うつもりで源氏に挑戦した、とある。戦いの勝敗を鑓矢（音の鳴る矢）で占うことを「吉凶矢」という。吉凶矢占いで負けた方が戦いに負けるとされる。

※ 鑓矢…戦闘開始の合図の音を出すための矢

## 補足資料 2 与一が指名されるまで

補足エピソード	やりとり
<p>① 与一が推薦される。</p> <p>←</p>	<p>与一を推薦する者がいた。(義経が)「証拠は何だ」と聞いたら、「(那須与一は)空を飛ぶ鳥を三つに二つは必ず射落とす腕前です。」と答えた。</p>
<p>② 与一は辞退を願い出る。</p> <p>←</p>	<p>与一は、「自分が射落とせるかどうかは、不確実です。もし失敗すれば源氏一族の不名誉(恥)になります。必ず射落とせる人に命令になってください。」と、一度は辞退した。</p>
<p>③ 義経が激怒し、辞退は却下される。</p>	<p>(辞退した与一に対して) 義経は激怒し、「この戦いに参加している者は、私の命令に逆らってはならない。逆らう者は鎌倉に帰れ。」と言った。</p> <p>※ 戦いから外されるのは武士にとつての恥であり、大将の命令に逆らったことにより、本人や那須一族が処罰されることも考えられる。</p>

# 扇の的―「平家物語」から

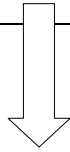
【目標】源氏の武士たちの心情や、命懸けで弓を拾い上げた義経の行動の意味を捉えよう。

名前

二年 組 番

1 「年五十ばかりなる男」が舞を舞った理由と、その男を那須与一が射倒したときの平家と源氏の様子を、現代語訳から抜き出そう。

舞を舞った理由	あまりの（ ）に（ ）から。	
与一が男を射倒した後の様子	平家	平家方は（ ）、（ ）もしない
	源氏	今度もえびらを（ ）どごと（ ）を上げた。



※（ ）側から出た二種類の言葉について考えよう。

（あゝ、）、（ ）（ ）とを。

2 「あゝ、射たり。」「情けなし。」と言ったそれぞれの人の気持ちを書こう。

「あゝ、射たり。」	気持ち。
「情けなし。」	気持ち。

※（ ）に寄り添う視点

## 【弓流し】

3 義経が命がけで弓を拾い上げた理由を、現代語訳から抜き出そう。

（ ）弓を（ ）が拾い、『なんとこれが（ ）九郎義経の弓だよ。』と（ ）に違いないのが（ ）ので。

4 義経の行動をどう思うか、自分の考えを書いて伝え合おう。

.....

.....

# 「平家物語」 × 「光る地平線」

【目標】 古典世界のものの捉え方を知り、自分の考えをもとめよう。

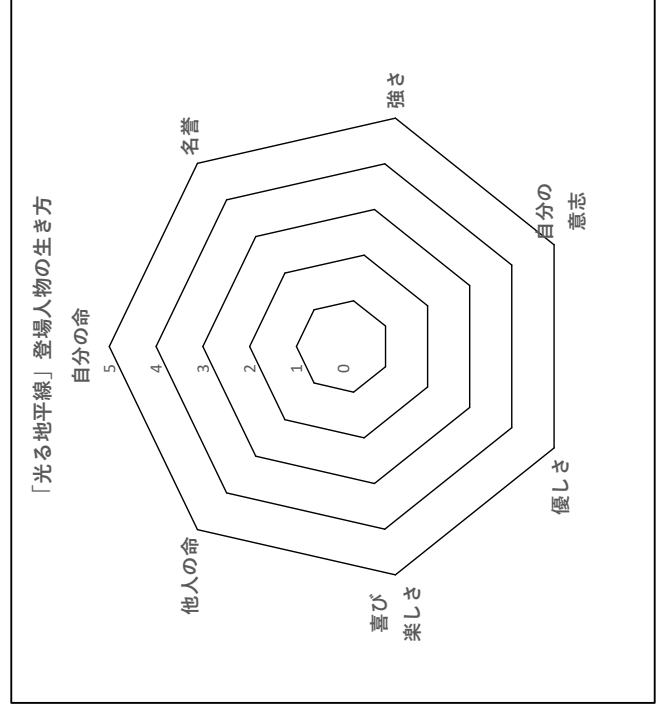
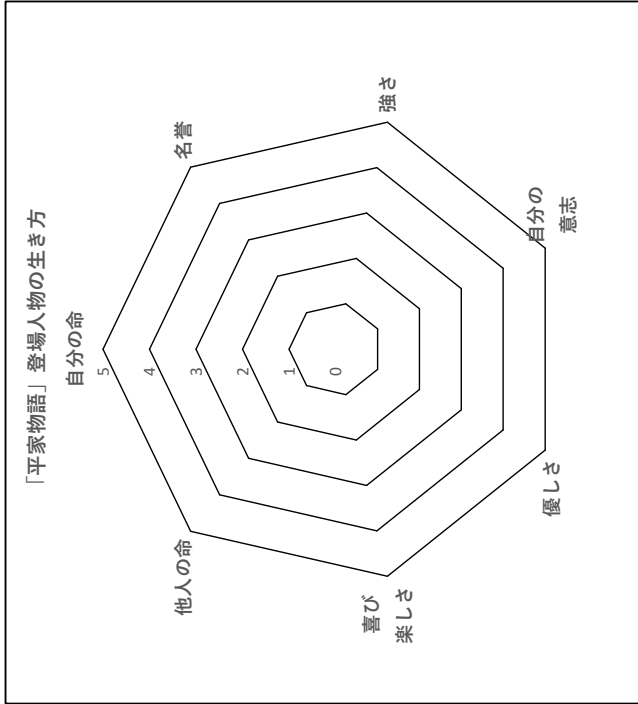
名前

二年

組

番

1 登場人物の生き方（生きる上で優先する価値観）を比較しよう。



●それぞれの数値の理由（メモ）

「平家物語」

「光る地平線」

2 「平家物語」に描かれた人間の生き方を現代の生き方と比較して書こう。

●思ったこと、気付いたこと（特徴、現代との共通点や相違点など）

-----

-----

-----

●相違点の理由として、自分が考えること

-----

-----

-----

# 扇の的―「平家物語」から

【目標】 那須与一が扇の的を射落とした場面の情景描写を読んで表現上の工夫を捉えよう。

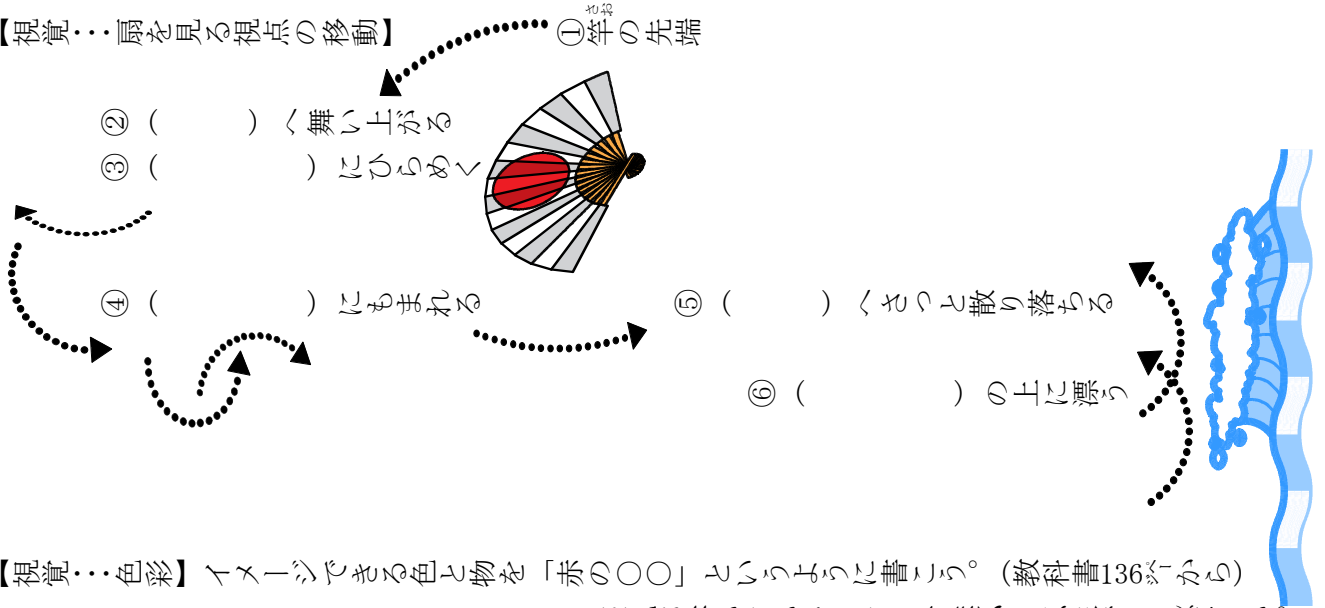
名前

## 1 与一が扇を射落とす情景を、聴覚と視覚で捉えよう。

【聴覚…弓矢の音】 当てはまる語や文の一部を古文から抜き出そう。

教科書136頁から

【視覚…扇を見る視点の移動】



【視覚…色彩】 イメージできる色と物を「赤の〇〇」というように書こう。(教科書136頁から)

※色を書いていなくても言葉から想像できればよい。

( ) の ( )
( ) の ( )
( ) の ( )
( ) の ( )

## 2 この様子を見ていた平家と源氏の行動を、原文から書き抜こう。(教科書136頁)

平家	教科書136頁10行目〜 ( ) には平家、( ) を ( ) 感じたり
源氏	教科書136頁11行目〜 ( ) には源氏、( ) を ( ) どよめきけり

※ ( ) 表現… 同じ ( ) で、意味の ( ) 言葉 (または反対の言葉) を二つ並べて、印象を ( ) にしたり意味を深めたりする。

## 扇の的―「平家物語」から

【目標】「平家物語」で学んだことをまとめよう。

- 「平家物語」の登場人物達のものの捉え方の特徴や、物語のよさを伝える本の帯を作ろう。

名前

二年

組

番

軍記物語

## 平家物語

「冒頭」「扇の的」「弓流し」

成立  
作者

時代

成立・作者は教科書の出典欄を参考にしよう。

## 【現代に受け継がれる物語】

【現代に受け継がれる物語】には、「平家物語」が現代の私たちに何を伝えているかを書こう。

には、「平家物語」がどんな物語かをワンフレーズで書こう。

には、登場人物が生きる上で優先する価値観を、物語の補足説明として書こう。